

世代超えて昔ながらの遊びやゲーム

大津市水明、市立小野小で週1回、児童と地域の住民らが交流する「ふれあい広場」が開かれており、参加者らが世代を超えて昔ながらの遊びやゲームを楽しんでいる。

住民や保護者が学校の運営に参画する「コミュニティ・スクール」の取り組みの一環で、5月から毎週水曜日の昼休みに開催。この日はあいにくの雨にもかかわらず、児童約60人と住民8人が生活科室に集まり、オセロやトラ

住民から将棋を教わる子どもたち



ンプなどのゲームやこま、お手玉などの昔遊びで交流した。児童がボランティアに将棋を教わったりする光景も。天気が良ければ、中庭で竹とんぼや羽子板なども楽しむという。

毎回のように参加している2年増田智優さん(7)は「晴れの日にはバドミントン、雨だったらオセロをするのが楽しみ」と言い、2年薄井若奈さん(8)は「将棋を教えてもらった。初めてだったけれど楽しかった」と声を弾ませていた。児童とトランプを楽しんだ砂田くに子さん(68)も「子どもたちがいろいろ気遣ってくれてうれしかった」と笑顔だった。

小野小で「ふれあい広場」

☆ はつらつ タウン